

C-2 支援イメージ

② 教師の具体的な支援イメージをいくつか持つ

・本時に予想される子どもの姿から 支援イメージを持つ

◇ 評価規準：お気に入りの場所を進んで話したり、聞いたりしている。(発表・行動) [関心・意欲・態度]

	予想される子どもの姿	支援イメージ
A	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に伝わるように声の大きさや物の見せ方など工夫しながらクイズを出している。 ・発表者を見て、つぶやいたり反応しながら聞いている。 ・何度も進んで手をあげ、答えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなに聞こえるいい声だね」「みんなに見せるように見せていいね。」と具体的にほめる。 ・教師も同じように共感しながら、聞く。 ・「どうしてその場所だとわかったの?」「同じことを見たことや思ったことある?」など投げかけ、「〇〇さんも見つけていたんだね。」と認める。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズを出している。 ・興味をもって聞いている。 ・手をあげて答えを話そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なんだろう?」「見えないな。見たいな。」など聞き手のつぶやきを声にしていくことで、聞き手を意識して発表できるようにしたい。 ・教師も反応しながら、聞く。 ・「〇〇さんもそこだと思ったんだね。」と認める。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・興味がそれ姿勢が悪くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～だと思っ人?」と聞いたり五択問題にしたりして挙手で参加できるようにする。答えを全員で言うなど答え方のパターンに変化をつけながら、みんなが楽しく参加できるようにする。

・本時のふりかえりから次時の支援イメージを持つ

◇ 評価規準 また行ってみたい場所を書いている。(ふりかえり) [関心・意欲・態度]

	ふりかえり	次時の 支援イメージ
A	また行ってみたい場所を書き、その理由を友だちの発表から自分の思いをふくらませて書いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・次時のはじめに、ふりかえりを全体に読み上げ紹介することを通して、思いを共有し、「今日のクイズでもまた行ってみたい場所ができそうだね。」と期待感をふくらませる。
B	また行ってみたい場所を書いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちのふりかえりを聞くことを通して、また行ってみたいわけについても考えられるようにする。 ・思いを認めながら、さらに「どうしてそう思った?」と投げかけていく。
C	また行ってみたい場所が書けない。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の席のそばに行き、そっと「どこだと思っ?」と投げかけたり、「えっ、そうなの?」など大きく反応しながら聞いたりする。 ・板書や掲示物などをそばまで見に行ってもいいよと伝え、それらを手がかりに考えられるようにする。